

平成27年度地域懇談会のまとめ

6月12日（金）午後7時30分から、山城中学校の3年A組教室で、地域懇談会が開かれました。内容は、PTA本部役員や学校の挨拶のあと、学校の様子を学年ごとにお聞きし、その後テーマに沿って懇談、というものでした。懇談の内容等、簡単に報告させていただきます。

○学校の様子（各学年の先生方から）

- 1年…入学当初は、時間に追われるように過ごしていたが、給食・そうじなども積極的に取り組めるようになってきた。中学生活に慣れてきて、次の授業の準備等も出来るようになってきた。授業は落ちついてきているし、部活動を通じて生徒達が挨拶を出来るようになってきた。
- 2年…「先輩」としての自覚が出てきたようで、2年生になってがんばっている生徒が多い。学年としてはベル着に取り組んでおり、授業準備に対する意識も高まっている。塾に通い出したせいともおり、全体に家庭学習に取り組めるようになってきているようだが、ゲームやスマホなどで寝不足になっているのか、体調不良を訴える生徒が出てきているのが気になっている。
- 3年…学級が2クラスで始まったのに、急に3クラスに変更、という始まりになり、子どもたちにとっては不安定になる要素がいっぱいだったかと思うが、子どもたちなりに受け止めてがんばってくれており、スタートは順調かと思われる。相楽地方春季練習大会や相楽陸上大会でも、3年生の活躍がめざましく、学年の雰囲気も良い。面と向かってコミュニケーションを取るのが苦手、という子どもたちが多いが、教育相談週間を活用し、しっかり話しをしていきたい。進路についても相談が増えてくると思うが、ご家庭では、高校見学に行くよう勧めてほしい。

○懇談内容

最初のテーマは「携帯電話・スマートフォンの使い方」でした。山城中学校では近隣の学校と比べても、スマートフォンの所持率が高く、学校でも扱い方の指導には力を入れてもらっているようです。家庭では、時間や使う場所を決めて使わせていたが、約束が守れなくなっている、という声や、3年生の保護者からは、受験前にけじめをつけられるのか心配、という声もありました。しかし、一方で子どもたちのコミュニケーションツールなので、使用に反対することもしにくい状況もあり、結局は、家庭内で使い方を話し合うことが必要、ということでした。基本的には、早い時期から持たせない、時間や場所の制限を設ける、パスワードを把握しておく、使い方をしっかり説明する、パソコンで代用させる、何かのごほうびに買う、などの意見が出ました。しかし、時には、約束が守れなければ没収することも必要だし、使い方を親が知らないことが多いので親も知っておく必要がある、という意見もありました。

次に、「部活動について」というテーマの中で、文化部の種類を増やしてほしい、陸上部を新設してほしい、といった意見が出ていましたが、現在の教員数不足の状況の中でなかなか難しいとのことでした。

